



セルビアと日本 多大な協力の可能性

第146回欧州研究会 アレクサンドラ・コヴァチュ駐日セルビア大使

民間外交推進協会（FEC）は3月4日、第146回欧州研究会（セルビア文化フォーラム）をアレクサンドラ・コヴァチュ駐日セルビア共和国大使のご厚意で、セルビア大使館で開催した。湯下博之FEC専務理事の開会挨拶に続いて、大使が日本語で挨拶、その後大使館員がプレゼンテーションを行った。最後には参加者に軽食が振る舞われた。

【大使挨拶】

皆様、セルビア大使館へようこそ。歴史と伝統、そして豊かな自然に彩られたセルビアをより深く知る機会を設けることができ嬉しく思う。

セルビアと日本の142年にわたる二国間関係を振り返ると、政治的な対話と交流を続けてきただけでなく、豊かなビジネスの環境と質の高い人と人との絆を通じて関係を強化してきた。昨年12月にセルビアで仕事をする日本企業で構成される「セルビア日本ビジネスクラブ」が発足したが、これは二国間の経済関係の上昇傾向に沿ったものである。また、2025年の大阪万博への参加を通じて関係を更に強化することを目指す、これは27年にベオグラードで開催される万博にも繋がるものである。

私達の友好関係の基盤は、人々の間の緊密な交流の上に築かれた深い連帯感に



基づくものである。それは鮮明な架け橋になり、相互理解を深めるものになるであろう。セルビアと日本の間の文化、スポーツ、学術分野での交流は、互いの尊重を強化するための重要な道筋として成功を収めている。また、文化イベントや芸術公演などを通じて、両国は豊かな遺産を称えあい、文化の多様性を促進している。さらに学術面でのパートナーシップや学生交流は、あらゆる分野で知識の向上や技術革新に貢献し、両国に教育の機会を提供している。

先日のセルビア・ナショナルデーレセプションの際に、文化・メディア・スポーツ・医療・教育等の分野で日本におけるセルビアの発展や知名度向上に貢献し

て来られた方々を表彰した。

近年見られている進展や継続的な投資により、セルビアと日本の間に将来にわたり多大な協力の可能性が残されており、大使館は今後も尽力していく。

セルビアの友好的な人々と文化を満喫してもらえれば幸いである。

《セルビアの文化》

バルカン半島中西部に位置するセルビアはハンガリーやルーマニア等8カ国に囲まれている内陸国である。

首都ベオグラードは古来、交通の要衝地として発展した経緯から、2000年近くの歴史がある「ベオグラード要塞」、2つの円形の塔に囲まれた「ジندان門」、軍事教会として建造された「ルジ

ツァ教会」など多くの歴史的建造物が残っている。第2の都市ノヴィ・サドはセルビア文化の中心地として、出版、学芸、美術の分野で積極的な活動を行ったことで「セルビアのアテネ」とも呼ばれている。

旧ユーゴ問題担当・国連事務総長特別代表として紛争の解決に努めた明石康氏や国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）代表として難民や国内避難民の問題の解決に当たった緒方貞子氏は多くのセルビア人に知られており親日の側面もある。また名古屋グランパスで活躍したドラガン・ストイコビッチ氏、テニスのノバク・ジョコビッチ氏もセルビア出身である。

大阪・関西万博「Beyond EXPO」を推進

FEC関西新春国際セミナー 姫野政府代表大使（関西担当）

民間外交推進協会（FEC）は3月6日、ホテルオークラ神戸で「FEC関西新春国際セミナー」を開催した。冒頭、福田泰久FEC関西代表（センコーグループホールディングス代表取締役社長）が挨拶し、続いて姫野勉政府代表大使（関西担当）が「2025年の大阪・関西万博を含めた関西地域の未来像について」をテーマに講演を行った。次いで深尾幸市京都精華大学アフリカアジア現代文化研究センター共同研究員による乾杯の発声で昼食懇談に移り、アトラクションでは亜空亜shin氏によるマジックが披露された。最後に湯下専務理事が感謝の言葉を述べ閉会した。

【講演要旨】

私は政府の立場で外交に取り組んでいるが、政府が行う事はほんの一部である。むしろ民間外交、人と人との関係が非常に大切である。私は国というものは、人々があっての国だと思う。現在、日本とロシアや中国の関係は難しいものがある。しかしロシアや中国にもさまざまな人がある。日本政府は決して反ロシアや反中国ではない。

日本政府は人間の安全保障の点で「生存（平和と安定）」「繁栄」「尊厳（精神的な側面）」の3つを重

視している。精神的な側面には、人から認められたい、人に感謝されると嬉しいという面がある。厳しい環境の下、お金にはならないが世の為に何かをやりたい、周囲に感謝されるのが嬉しいという思いを持ってアフリカで活動をしている知人がある。こういう要素が大事だと思う。ロシアのウクライナ侵攻は上記3つの点で酷い事と思われる。ウクライナを侵略して経済を台無しにし、国際法を踏みにじっている行為を日本としては認められない。更にロシアのウクライナ侵攻の影響はウクライナだけにとどまらない。エネルギーや食糧価格の上昇で財政難になり、多くの国でヘルスケアを提供することが難しくなっている。このような状況下、大事なのは信頼関係であり、民間外交は重要になってくる。

来年の大阪万博は、インバウンドへの貢献だけでなく、世界の問題の解決策を見つける素晴らしい機会だと思う。世界中から知恵と技術を持ち寄り、先ほど触れたエネルギーや食糧、ヘルスケアの問題の解決策を探る。関西にはそのような問題に貢献できる2つの力がある。

一つはライフサイエンスとバイオテクノロジーであ



講演をする姫野政府代表大使（関西担当）

る。医療産業都市でもある神戸、また再生医療を中心とする医療拠点「中之島クロス」がオープンする大阪では多くの中小企業が共に活動を行っている。関西万博のヘルスケアパビリオンでは、関西の中小企業と世界の人達が知恵を持ち寄り、解決策を見つける取り組みが予定されている。

2面に続く

1面から続く

もう一つが脱炭素である。兵庫県の播磨地域、大阪の堺や京都の舞鶴では水素やメタネーションを使用した工場の稼働が始まっている。関西地域からこの素晴らしい脱炭素の技術が世界に進出することが出来ると思っている。

大阪万博では「Beyond EXPO」が大事になってくる。一つは地理的に会場である舞洲を越えていくこと。期間中は会場だけでなく、日本各地でさまざまな取り組みを行うことが大事である。

もう一つは万博後の将来である。万博の開催で世界の注目を集めることを生かしてもらいたい。新しいネットワーク、パートナー、チャンスを手握り「Beyond EXPO」を推進していただきたい。



FEC関西代表として挨拶をする
福田泰久センコーグループホールディングス(株)代表取締役社長



深尾幸市・京都精華大学アフリカアジア現代文化研究センター共同研究員による発声で乾杯をする関西の会員たち



新任の大鷹駐タイ大使に面会

3月7日、湯下専務理事は、栃尾雅也FEC日アセアン文化経済委員会委員長（味の素(株)アドバイザー）とともに、新しく赴任する大鷹正人駐タイ大使を表敬訪問した一写真。

大鷹大使は外務報道官、駐ハンガリー大使を歴任し、総合外交政策局審議官時代の2017年にはLFEC（当時）東京研修でもご講演いただいた。コロナ禍の影響で延期となっていたアセアン訪問再開に向けて挨拶と意見交換などを行った。タイにはASEANの中で最も多くの日系企業が進出し、長い間にわたり良好な関係を築いている。また、観光関連の産業を中心に今後も緩やかな成長が見込まれている。

大使には、追ってオンライン研究会の講師を引き受けていただく予定である。

「ベラルーシ・フォーラム」

社会志向の市場経済モデルを堅持



FECは3月14日、第147回欧州研究会（ベラルーシ・フォーラム）をラヴリネンコ・エヴゲーニイ駐日ベラルーシ共和国臨時代理大使のご厚意で、ベラルーシ大使館で開催した。湯下博之FEC専務理事の開会挨拶に続いて、ラヴリネンコ臨時代理大使がプレゼンテーションを行った。最後には参加者に飲み物が振る舞われた。

【講演要旨】

大使館に皆さまを迎えることができ、またベラルーシについて話を聞いていただくことを嬉しく思う。

ベラルーシは欧州の真ん中に位置し、CIS諸国と西欧を結んでいる。またロシア・ウクライナ・ポーランド・リトアニア・ラトビアの5カ国と国境を接しており、どの国とも良好な関係を結ぼうと努力している。国土は6つの州に分かれているが、首都ミンスクは独立した行政区画になっている。またベラルーシは民主的かつ法治国家の共和国であるが、経済政策の観点から見ると、社会志向と言える。ベラルーシ共和国憲法は1994年に制定されており明日（3月15日）でちょうど30年になる。ベラルーシの公用語はベラルーシ語とロシア語の2つあり、公的な文

第147回欧州研究会

ラヴリネンコ・エヴゲーニイ駐日ベラルーシ共和国臨時代理大使



書も2つの言語で作成される。

ベラルーシは長い歴史があり、西欧と東スラブのそれぞれの影響が融合している美しい国だ。湖や森林など雄大な自然が多くあり、「欧州の肺」とも言われている。

自然を守っていくと同時に経済を守っていかねばいけない。ベラルーシの経済は工業製品や農産物の生産が発展しており輸出志向型と言える。社会志向の市場経済モデルを堅持しており、その確実性、有効性を証明している。経済の近代化、人々の生活と自己実現の為の快適な条件の創出を通じて、社会の安定の確保と国民福祉の向上が国の目標であり、ベラルーシの2021～25年の5カ年計画ではそれが明記されている。その目標を達成するた



めに取り組むべき優先事項が3つ定められた。①伝統的な家族観（子供がいる家庭が社会的規範になる思想）を普及させる為に幸福な家庭を多く作ること②どこにいても効果的な雇用と収入が創出される強い地方を作ること③教養と知識がある知的国家を作ることである。

ベラルーシはさまざまな国との経済関係を構築することに大きな関心があり、日本との関係もますます発展させたいと考えている。ベラルーシでのビジネスに関心がある方はいつでも声をかけていただきたい。今回の話を通じてベラルーシの事が皆さんの胸のどこかに残ってもらえたら嬉しく思う。

《ベラルーシとは》

ロシア、ポーランド、ウクライナ、

リトアニア、ラトビアと国境を接した内陸国ベラルーシ。その国土はほぼ全体が平坦で、国内を流れる黒海に注ぐドニエプル川とバルト海に注ぐ河川を利用した水運とヨーロッパとロシアをつなぐ東西の陸上交通も古くから盛んだ。国土の多くを森林が占め、湖沼が多く存在する美しい自然に恵まれた国で西部のミール城はユネスコの文化遺産に登録されている。首都ミンスクは聖シモン・聖エレナ教会といった歴史的建造物と近代的な建物が混在しており、そのコントラストが魅力的な都市でもある。

経済に目を向けると近年はIT産業に注力しており日本のIT専門家も多く訪問している。今後の両国の更なる人材交流が期待される。

東京

センコーグループ

TOKYO EAST SIDE HOTEL KAIE

東京イーストサイド ホテル権会 TEL.03-3699-1403
東京都江東区潮見 2-8-11 <https://www.hotelkaie.jp>

豊洲

潮見

JR 京葉線潮見駅 東口前

東京駅から7分。舞浜へは9分。
観光地へのアクセス便利な好立地！

舞浜

地球はつづく、
化学でつなぐ！

東亜合成

アゼルバイジャン国際関係研究センター会長と昼食会



FECは3月21日、ファリッド・シャフィエフ・アゼルバイジャン国際関係研究センター会長との昼食会をホテルニューオータニで開催した一写真。

今回の昼食会にはアゼルバイジャン側からはシャフィエフ会長のほか、ギュルセル・イスマイルザーデ駐日アゼルバイジャン大使、ロヴシャン・ジャファロフ在日アゼルバイジャン大使館参事官ら計5人、日本側からは湯下博之FEC専務理事のほか、松本謙一FEC日中央アジア・コーカサス文化経済委員会委員長（サクラグローバルホールディング㈱代表取締役会長）、北村和彦日本タタ・コンサルタンシー・サービス㈱常務執行役員ら計5人が出席した。

昼食会では、ウクライナ戦争や今後の日本とアゼルバイジャンの展望、FECとの関係等を中心に懇談が行われた。



ファリッド・シャフィエフ・アゼルバイジャン国際関係研究センター会長

「最新のタイ情勢—変わりゆく国内政治と日本との関係」

共創パートナーとしてのビジネス交流を

FECは3月21日、梨田和也前駐タイ大使を招き、「最新のタイ情勢—変わりゆく国内政治と日本との関係」をテーマに第89回アセアン研究会を如水会館で開催した。梶尾雅也FEC日アセアン文化経済委員会委員長（味の素㈱アドバイザー）の挨拶の後、梨田大使が講演を行い、最後に質疑応答が行われた。

【講演要旨】

タイは国王を中心とした立憲君主制の国で、2014年の19回目の軍事クーデター後の政治は安定していた。23年5月の総選挙を経て、不動産業経営者セター氏を首相とする新政権が発足した。11政党による大連立政権の特徴は、①民政化移行②敵対勢力同士の結束③タクシン氏の復帰（恩赦）一の3点。タイの保守権力基盤の3M（国王、財閥、軍部）構造は堅固であり、保守陣営の敵対勢力は排除されてきた。現国王が健在の間は今の政情が続くと思われる。

タイの外交は全方位外交を基本とし

第89回アセアン研究会

梨田和也前駐タイ大使

つつ、大国との距離を内外の事情に応じて変更する「柳腰外交」の異名をもつ。国際場裏において旗幟鮮明な態度をとらず、各国との関係に配慮する傾向がある。タイは日本の主張を支持しないし、中国も支持しない。「タイが日米寄りの立場をとると、中国から10倍の仕返しがある」とタイの外交官は理由を明かす。

政財界では中国をルーツに持つタイ国民が活躍している。中国とのインフラ・プロジェクトによる債務の罠に最大限に注意しつつ、中国の経済力に大きく依存している。対米関係は14年のクーデター後、一時低迷した。現米政権はアジア太平洋重視の政策を打ち出しているが、米国大統領のタイ訪問はオバマ大統領以降実現していない。ミャンマー問題では、2400キロに及ぶ国境管理が最大の関心事項だ。現政権はASEAN各国とも協調し積極的関与の姿勢を打ち出している。

足元の経済状況は、中国向け輸出の鈍化、政策金利の上昇（10年ぶりの高

水準）、予算成立の遅れの影響から、製造業や建設業等は必ずしも良くない。ただし、GDPの約2割を占める観光業を中心にタイ経済は緩やかに成長し、23年は成長率1.9%の見込みだ。タイ経済は外需に大きく依存している。主な輸出品目は自動車、電子機器、電化製品など。タイ政府は海外からの直接投資を優遇する政策を推進している。過去10年間の累積投資額は日本が首位（タイ人雇用も首位）に立つ。ランドブリッジ計画をはじめ、首相によるトップセールスでの海外投資を積極的に誘致している。観光業はコロナ後に急速に回復し、23年の訪タイ観光客は約2800万人（コロナ前は、約4000万人/年）だった。

タイの主要課題は、「中進国の罠」に陥ることのない安定成長の実現と、東南アジア最大の製造拠地の維持であり、OECD加盟申請も行った。経済特区として東部3県（チョンブリー、ラヨン、チャチェンサオ）を「東部経済回廊（EEC）」に指定し、重点



産業の誘致・育成、インフラ開発、新都市開発を推進している。高度人材育成政策として、我が国の「高専」をモデルとした「KOSEN」が、円借款支援を得て19年発足した。急速な少子高齢化により生産年齢人口が減少する見込みだが、外国人労働者（ミャンマー人500万人）に恵まれている。

日本とタイのビジネス交流では、タイを教える相手ではなく共創パートナーとみるべきであり、日本のスタートアップ企業をタイの大企業に紹介したい。

大使館訪問



【2月28日】
タジキスタン大使館
ミルゾシャリフ・ジャロ
ロフ・アソムディノヴ
ィチ駐日大使（左）と湯
下専務理事



【2月28日】
レバノン大使館
ニダル・ヤヒヤー駐日
大使（右）と湯下専務
理事

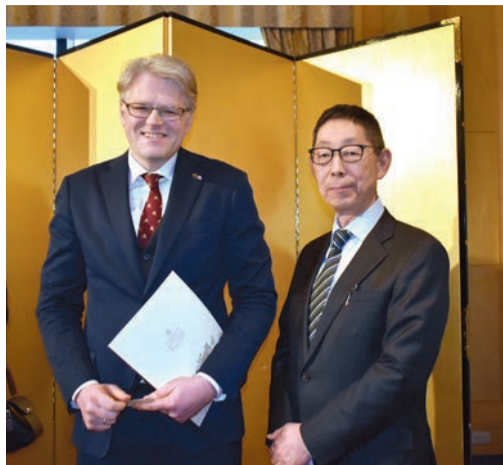
医療の進歩に貢献するサクラグループ
〈皆様をウィルスから守る!〉 〈がんの迅速診断に!〉

サクラ精機株式会社 <http://www.sakurajp.com/>
サクラファインテックジャパン株式会社 <http://www.sakura-finetek.com/>
サクラグローバルホールディング株式会社 <http://www.sakuraghc.com/> TEL.03-3270-1666

ホームセキュリティは
ALSOK

Always Security OK 新潟総合警備保障株式会社 <https://www.ngtalsok.co.jp/>
サンキュー ツヨイミカタ
ALSOK ☎0120-39-2413 (年中無休 24時間受付)

Celebration



【3月6日】
リトアニア共和国建国106周年
・独立回復34周年記念レセプシ
ョンにてオーレリウス・ジーカ
ス駐日大使（左）と細野太郎F
EC常務理事



【3月8日】
ブルネイ・日本外交樹立40
周年記念レセプションにて
ハジ・シャブディン・ハジ
・ムサ大使（左）と湯下博之
FEC専務理事



【3月26日】
第53回バングラデシュ独立記念
レセプションにてシャハブッデ
イン・アーメド駐日大使夫妻
（右）と湯下専務理事

論点

インド太平洋地域の平和と繁栄のために

4月には日本外交に大きなインパクトを与える2つの出来事があった。1つは岸田首相の訪米の成功であり、もう1つは韓国の総選挙での尹錫悦大統領の与党の敗北である。

岸田首相の訪米は、国賓待遇で行われ、バイデン大統領との間で日米関係を固め、更なる発展に導くための種々の話し合いを行うとともに、米議会両院会議での演説で、16回に及ぶスタンディング・オベーションの中、諸外国と協力しての国際貢献を米国に呼びかける等極めて意義深い訪問であった。

米国は、しばらく前から内向きになっており、特に今年11月の大統領選挙を控えて国際貢献が米国民の関心を引きにくい状況にある。他方、日本はインド太平洋地域の平和と繁栄の問題等について

これ迄積極的にイニシアティブをとって、米国をもその方向に引っ張って来ている。

中国の台頭への対処についても、世界中が一致して対処すべき問題であるのに、米国は米国のみで対処してうまく行かなかった経緯がある。

このような事実を踏まえると、最近、QUADやAUKUSといった複数国の協力枠組みや日米韓、日米比といった複数国の協力関係が生まれていることは喜ばしい。

岸田首相が米議会両院会議演説で述べたように、世界は米国のリーダーシップを当てにしているが、米国たった一人で国際秩序を守ることを期待している訳ではなく、多数国が協力して取り組むことが大切であり、今回日本はその考えを明

確に打ち出したと言える。

中国に関して、日米首脳共同声明が、「力または威圧によるあらゆる一方的な現状変更の試みに強く反対する」と同時に「首脳レベルを含め、中国との率直な意思疎通の重要性を強調し、共通の関心分野で可能な場合に中国と協力する意思を表明」したことは適切なアプローチであり、中国に国際法を無視した勝手な行動を許さない為の対策を整えたと共に、中国が国際社会の一員として責任のある行動をとるよう国際社会全体が中国に働きかけることが望まれる。

韓国の総選挙で尹大統領の与党が大敗を喫したことは、良好な日韓関係を望む者にとっては残念なことであった。ただ、今回の選挙では日韓関係が大きな争点になっておらず、尹大統領が対日政策

を転換するとの見方はほとんどないと報じられていることに着目したい。日本と韓国が良好な関係を保つことは、日韓両国にとってはもとより、北東アジア地域の平和と繁栄を図る上でも極めて重要であり、前述の米国との協力によりインド太平洋地域の平和と繁栄を図る上でも不可欠と言える。

日本としては、韓国総選挙の結果に落胆して様子見の姿勢をとるのではなく、中長期的な観点から、青少年交流の一層の活発化や産業面での協力の可能性の模索等に力を注ぐことが大切と考える。そうすることにより、韓国の世論が日本との関係を相互利益のためのパートナーと考えるようになることを期待したい。

（専務理事・湯下博之）
4月16日付

FEC 活動日誌

5月の催しのご案内

◆16日（木）15時～17時
第282回国際研究会
講 師：ジャスティン・ラウール・ヘイハースト駐日大使
内 容：オーストラリア・ビジネスフォーラム

会 場：オーストラリア大使公邸
◆22日（水）14時～16時
第13回中央アジア・コーカサス研究会
内 容：タジキスタン・文化フォーラム
会 場：タジキスタン大使館
◆23日（木）15時～16時30分
第149回欧州研究会
講 師：マルチン・クルチャル駐日大使

詳細、最新情報は本協会ホームページ（<https://www.fec-ais.com>）をご覧ください。事務局（電話03-3433-1122）にお問い合わせ下さい。いずれも定員に達し次第締め切りとさせていただきますので予めご了承下さい。

内 容：チェコ・フォーラム
会 場：チェコ大使館
◆30日（木）14時～15時30分
第95回中東際研究会
講 師：田中浩一郎慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授
テーマ：混沌とする中東情勢の行方
会 場：オンライン

一等書記官、外務大臣付職員等を経て、2012年欧州総局次長（ドイツ、オーストリア、ポルトガル、バルト諸国担当）。17年駐ドイツ大使、21年チュニジア・EU関係局長を歴任後、24年より駐日大使。



イヴァン・スルコシュ氏（スロヴァキア共和国大使） フランス国立行政学院修了。1982年チェコ・スロヴァキア連邦外務省入省。中東局および各国大使館勤務後、1997年駐デンマーク臨時代理大使、2008年国際開発協力庁長官。駐シリア・レバノン・ヨルダン大使、駐エジプトEU大使等を歴任後、20年外務・欧州問題省副大臣室室長。24年より駐日大使。

協会だより

【新名誉会員】



アハメッド・シャッフ
ラ氏（チュニジア共和国大使） チュニス第2大学法学部修士課程、経済社会法修了。1993年外務省入省。在ジャカルタ大使館



「ライト館」の
伝統を未来へ
～ライト館開業100周年～



帝国ホテル
東京

客室予約係:03-3504-1251



特別宿泊プラン
「フランク・ロイド・ライト®スイートで極上のひととき」
◀詳しくはこちら